



オンライン開催

震災を語り継ぐ

～いのちのバトンを手渡すために～

2011 年から被災と復興の証人になろうと東北4県を訪れ、いくつもの小さな物語に耳を傾けて、12 年が過ぎました。2022 年度からは、福島とその周辺を中心に、災害と人間について考える「東日本・家族応援プロジェクト+（プラス）」として継続しています。本シンポジウムでは、今年度現地を訪れた院生の報告や、現地の皆様からの近況報告に加えて、さまざまな立場から「語り継ぐ」ための活動を展開している方がたに発言していただき、東北に思いを寄せる人びとをつなぎ、交流を深めたいと思います。是非ご参加ください。

2023.9/23 [SAT] 13:00-17:00 開場 12:45

～ プログラム ～

13:00～ 学部長あいさつ

プロジェクト概要と企画趣旨

第1部 東北各地の^{いま}現在を語る

・院生報告

2023 年度プロジェクト概要の紹介と院生たちの語り

・現地の皆様からの報告

現在の状況と今後に向けて

14:20～ 第2部 語り継ぐために ～聴く・編む・手渡す～

・高校生たちの活動報告

・民話の語りと次世代へのメッセージ

・〈聞き手－語り手〉からのエール

16:30～ 第3部 交流会

※プログラム詳細は裏面をご覧ください。

※プログラムは都合により変更になる場合がありますので予めご了承ください。

★事前申込みが必要です

・QRコードから



・メールから

ejfspj2011@gmail.com

*件名「2023 シンポジウム参加」
*本文に以下①～④をご記入願います。

- ①お名前
- ②メールアドレス
- ③お住まいの都道府県名
- ④緊急時の連絡先

締切：9月18日（月）

※9月21日（木）にメールで当日の接続 URL を送信いたします。

～ プログラム ～

13:00～

学部長あいさつ

サトウ タツヤ (立命館大学総合心理学部長)

プロジェクト概要と企画趣旨 村本 邦子 (プロジェクトリーダー/人間科学研究科 教授)

第1部 東北各地の^{いま}現在を語る

進行：村本 邦子

- ・ 院生報告 2023年度プロジェクト概要の紹介と院生たちの語り
 - ・ 現地の皆様からの報告、現在の状況と今後に向けて
 - 青森県むつ市 眞手 忍氏 (青森県むつ児童相談所こども相談課 課長)
 - 岩手県宮古市 斎藤 清志氏 (宮古市企画部田老総合事務所 所長)
 - 佐々木 純子氏 (一般社団法人宮古観光文化交流協会 学ぶ防災ガイド)
- ※ビデオレター
- 宮城県多賀城市 丸山 隆氏 (多賀城市教育委員会生涯学習課 副主任)
 - 黒川 恵子氏 (おおぞら保育園 園長)
 - 福島県白河市 小磯 厚子氏 (NPO 法人しらかわ市民活動支援会 おひさまひろば 副代表)
 - 青砥 和希氏 (東日本大震災・原子力災害伝承館 常任研究員)

休憩

14:20～ 第2部 語り継ぐために ～聴く・編む・手渡す～

進行：太田 光美 (立命館大学大学院人間科学研究科博士課程前期課程1年)

東 知佐子 (同 博士課程前期課程2年)

- ・ 高校生たちの活動報告
 - 自由の森学園高等学校選択講座「東北と復興」メンバーの高校生と
 - 内田 一樹氏 (修了生、自由の森学園中学高等学校 社会科教諭)
 - しらかわの高校生とサポーター
- ・ 民話の語りと次世代へのメッセージ ※ビデオレター
 - 大平 悦子氏 (岩手県遠野市、日本民話の会会員)
 - 寺嶋 重子氏 (宮城県山元町、やまもと民話の会会員)
 - 長正 サツキ氏 (福島県飯舘村、みやぎ民話の会会員)
- ・ 〈聴き手-語り手〉からのエール
 - 瀬尾 夏美氏 (アーティスト、一般社団法人NOOK)
 - 加藤 恵子氏 (みやぎ民話の会会員)

16:30～ 第3部 交流会

- ・ 全体の意見交換
- ・ ブレイクアウトルーム

(終了予定 17:00)